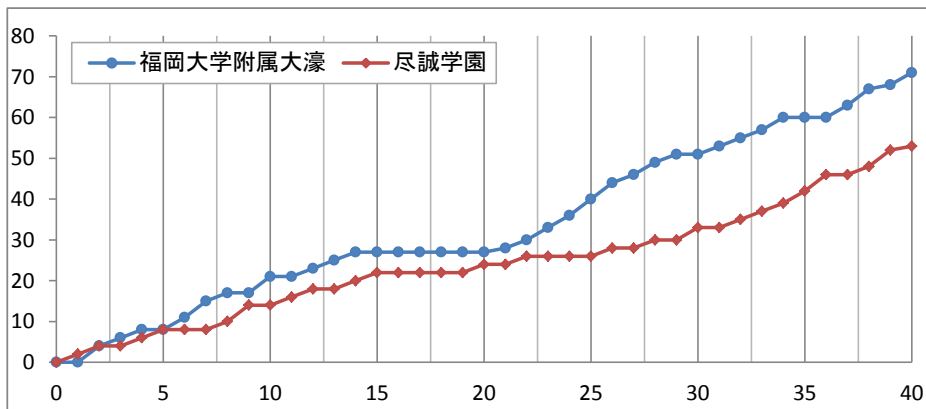


# 平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 2回戦      福岡大学附属大濠 71      53 尽誠学園  
 主審 秋庭 淳                                      (福岡) ○      ● (香川)  
 副審 手塚 清孝

No. 30a3      日時: 2013年7月30日(火) 13:20      会場: 別府アリーナ



## 福岡大学附属大濠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 青木 保憲 (C)	0	0	0	0	3
5	堤 大喜	2	0	1	0	1
6	金丸 亮太	5	0	1	3	1
7	* 葛原 大智	9	0	4	1	1
8	牧 隼利	7	0	3	1	1
9	松尾 啓輔	7	0	3	1	2
10	増田 啓介	0	0	0	0	1
11	鳥羽 陽介	0	0	0	0	1
12	帯刀 滉暉	2	0	0	2	0
13	* 津山 尚大	10	1	3	1	2
14	* 杉浦 佑成	26	1	11	1	0
15	* 野口 夏来	3	0	1	1	1
コーチ	片峯 聡太					
合計		71	2	27	11	14

## 尽誠学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 篠原 敏希 (C)	11	0	3	5	3
5	出口 琢也	-	-	-	-	-
6	* 前山 卓矢	2	0	1	0	5
7	* 高橋 龍斗	3	0	1	1	2
8	* リンダーライアン雅輝	8	0	4	0	2
9	近石 泰成	5	1	0	2	0
10	竹内 龍一郎	4	0	2	0	2
11	* 小谷 健太	12	0	6	0	4
12	松尾 季風	-	-	-	-	-
13	濱田 貴流馬	-	-	-	-	-
14	奥田 真大	-	-	-	-	-
15	葛原 海都	8	1	1	3	1
コーチ	色摩 拓也					
合計		53	2	18	11	19

\*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

## 戦評

序盤は緊張感のある滑り出しで、尽誠学園#11と福岡大学附属大濠#14がそれぞれ連続ポイントを挙げる。大濠はマンツーマンDef、尽誠学園はマンツーマンとゾーンを混ぜながらのDef。大濠#7のスティールからの速攻や#14の3Pが決まる中、尽誠学園も身長差をものともせず5分を経過して8-8の互角の戦いを繰り広げた。しかし、尽誠学園の果敢なOffも大濠の厳しいDefに阻まれ残り4分ごろから徐々に差が開き始めた。2分27秒、タイムアウト直後の尽誠学園#15のフリースロー2本が成功し#6のミドルシュートが決まるなど、一時は点差を5点差まで縮めたが、第1ピリオドは21-14と大濠が7点リードして終えた。第2ピリオド、尽誠学園の24秒をフルに使うOffで、4分33秒27-22となったところで大濠がたまたまタイムアウトを取った。ところが、尽誠学園はその後も同じスローペースでOffを展開し、Offリバウンドを積極的に拾い、尽誠学園のボールの保持時間が長く、大濠はOffのリズムが作れなかった。5分間もの長い間、試合は膠着状態となり、残り20秒で尽誠学園#4のレイアップが決まり27-24と3点差で前半を終えた。

第3ピリオドは大濠の気迫のこもったDefに尽誠学園は24秒バイオレーションを繰り返し、次第にシュートまでの時間が早まり、大濠のペースになっていった。大濠#13の3Pやバスケットカウントなど3連続得点で、一時は2点差と縮まった点差が36-26と再び開き、第3ピリオドを51-33と大濠がリードを広げて終えた。第4ピリオド大濠はオールコートDefに切り替え、ターンオーバーからの速攻などでペースをつかんだかに見えたが、尽誠学園の#4や#9の要所でのシュートが決まるなど、最後まで尽誠学園の脅威の粘りが目立つ好ゲームとなった。ゲームは71-53で大濠が勝利を収めた。

記者 内田 保博 (所属) 大分県バスケットボール協会